

蕨 7 広報WARABI

2013/平成25年
わらび・745

- 平成25年7月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 6月1日現在人口：72,346人 前月比 +4人
男 36,829人 女 35,517人
世帯数：35,685
人口密度：14,185人/km²



ちょっぴり早い夏の風物詩 みんなで楽しくスイカ割り

市内全小学校で毎週月曜日に開かれている放課後子ども教室。6月17日、塚越小学校の同教室では、一足早い夏を楽しもうと、児童70人がスイカ割りに挑戦しました。振り下ろす棒の行方に一喜一憂した後は、甘くておいしいスイカをがぶり！笑顔もはじけました。

～今月の特集～

- 愛され続ける蕨駅
- 検証：市長マニフェスト

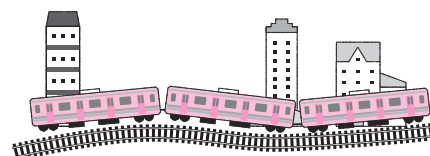

WARABI



特集：愛され続ける蕨駅



まちの玄関 蕨駅が開業120周年



まちの変遷を見守り続けてきた蕨駅が、今月16日に開業120周年を迎えます。特集では、その歴史や今後行われる記念事業などをご紹介します。

1日の乗車人員約5万7000人、上下線合わせた列車発着本数500本以上。県内で有数の規模を誇るJR蕨駅は、通勤・通学などで皆さんの暮らしを支える重要な役割を担っています。

そんな蕨駅が誕生したのは、明治26年7月16日。開業当時、1日の乗客数は約1000人、列車発着本数も10本だけだったそうです。当初、改札は西口のみでしたが、昭和24年に東口にも設置されました。

駅舎が現在の姿になったのは昭和42年のことです。この年に開催された埼玉国体で、蕨市が相撲競技の会場となっ

人と歴史を運び120年



昭和30年代の蕨駅東口



昭和34年の蕨駅西口



蕨駅停車場開設記念碑(明治27年)



写真で見る
蕨駅の歩み

わらてつまつり

とき＝7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)
 ところ＝JR蕨駅・くるる

13日～15日

- ①大ジオラマ・Nゲージ模型実演／午前9時～午後6時 持ち込み車両での体験運転も可
- ②写真パネル展示／蕨駅開業以降の歴史写真
- ③プロムナード屋台村～駅前出張商店街～／午前11時～午後4時



- ④ワラビー君1日駅長委嘱式／午前10時
- ⑤式典／午後1時半
- ⑥講演／午後2時 地方から伝

14日

える鉄道文化・世界最初の新幹線電車が生まれた町・蕨 荒井貞夫さん(鉄道専門家) ⑦皆で乗ろう!ミニ新幹線「スーパーこまち」／午前11時～午後3時 先着400人 雨天中止

15日

⑧プラレールで遊ぼう／自由にレールを敷いて鉄道模型を走らせます ⑨工作教室／親子で作る鉄道模型教室＝先着15組 1,000円～1,500円(模型代)



紙電車を作ろう教室＝先着100人無料 事前申し込みは蕨駅開設120周年記念事業実行委員会(わらびネットワークステーション内) ⑩明治時代の駅員さんに大変身／撮影はカメラ持参 ⑧⑨⑩は午前10時～午後4時 ⑪スーパーベルズLIVE／午後7時

ところ＝①③⑤～⑪はくるる、④はJR蕨駅、②は両会場

※13日・14日のあさがお&ほおずき市と合同でスタンプラリーも開催します

詳細＝同実行委員会(☎445・7256)

※写真はイメージです



蕨駅開設120周年
 記念事業実行委員会
 実行委員長

うえだ ふみこ
 植田 富美子さん

祭りで蕨に更なる活気を

「わらてつまつり」では、記念すべき開業120周年をお祝いしながら、まちのにぎわいを創出することを目標に掲げています。「元気を見つけに出發進行!」をテーマに、楽しい催しが盛りだくさんですので、ぜひお立ち寄りください。更なるまちおこしへのきっかけになればいいですね。

こうして、皆さんから親しまれてきた蕨駅が、今年で開業120周年を迎えました。長寿のお祝いで、「大還暦」と呼ばれるこの大きな節目の年を、地域全体で盛り上げようと、蕨駅周辺の市民や商店の皆さんが中心となり、「蕨駅開設120周年記念事業実行委員会」を結成しました。

地域ぐるみで祝う大還暦

たことを契機に、改築を実施。線路の東西を陸橋でつないで改札を統合した、橋上駅舎が完成しました。

その後も、エスカレーターやエレベーターが設置されるなど、時代や要望の移り変わりとともに、蕨駅も少しずつその姿を変えてきました。

そして、記念事業のメインを飾るイベントが、今月13日から15日まで開催される「わらてつまつり」です(上囲み参照)。市民や企業、行政など、地域が力を合わせて行われるこのお祭りは、市内外からの多くの人出でにぎわうことが見込まれます。蕨駅の大還暦を盛大にお祝いしましょう。

4月29日には、「苗木市・藤まつり」に合わせて、オープニングセレモニーを開催。京浜東北線とわらびりんごをデザインに取り入れたロゴマークも発表されました。



より利用しやすい駅に平成22年



埼玉国体選手団来蕨(昭和42年)



改築中の蕨駅(昭和42年)

検証：市長
マニフェスト

着実に前進する あったか市政



中央公民館で子育てママと懇談をする頼高市長

マニフェスト実施状況(41項目)

- ◎：実施済み 21項目
 - ：一部実施・着手 17項目
 - △：検討中 3項目
 - ★：変更 0項目
- 達成率・・・92.7%

頼高市長の2期目のマニフェスト「新あったかプラン」は41項目あります。この1年間で、ぶらっとわらびの75歳以上の無料化や認可保育園の増設、学校土曜塾の開講などを進め、「実施済み」は昨年より8項目増の21項目。「一部実施・着手」と合わせると38項目になり、達成率は92.7%となりました。今後も厳しい財政状況の中でも、市民と行政が一体となった魅力あるまちづくりを進めていきます。

「実施」「一部実施・着手」
合わせ達成率92%以上へ

よりたかひでお
頼高英雄市長が2期目をスタートさせてから、2年が経過しました。この間、市民の皆さんとお約束したマニフェスト「新あったかプラン」は着実に進められています。ここ4、5分では市長マニフェストの進みぐあいについてご報告します。

4月に開講 学校土曜塾



学校土曜塾に参加している4年生の娘は、地域の人の温かい指導の下、楽しみながら宿題などに取り組んでいるようです。今では、家でも計画的に勉強するようにになり、休日の過ごし方にメリハリがあります。子どもたちへの教育の充実を今後進めてほしいですね。



歓迎です
教育支援の充実

さいとう ともこ
齊藤 知子 さん
塚越4丁目・46歳

学校施設の 耐震化100%へ



今年度、息子が通う北小を含む5校の体育館耐震化が行われ、全学校施設の耐震化が完了するそうです。保護者として安心です。体育館は災害時に避難所にもなるので住民としても心強いです。こうした安全を重視した施策は費用がかかっても進めてほしいですね。



心強い学校
体育館の耐震化

けいの ひろゆき
慶野 博是 さん
北町4丁目・50歳

市民の声

進む
魅力あるまちづくり

75歳以上の 運賃無料化



昨年9月、ぶらっとわらびの75歳以上無料化が始まり、すぐに無料バスの申請をしました。駅や病院へ行く際、夫婦でよく利用するので助かります。身近なコミュニティバスの無料化は、高齢者の移動支援だけでなく、外出するきっかけづくりにもなりいいことです。



助かります
ぶらっと無料化

しまむら しげあき
島村 茂明 さん
中央7丁目・79歳

開園！民間 認可保育園



昨年出産して、現在、育児休暇中です。子育て中の私たちにとって、錦町に新たな認可保育園が開園したことは、とてもうれしいことです。特に0歳児や1歳児などの定員が他に比べて多いのはいいことです。これからも子育て世代に優しいまちづくりをお願いします。



うれしい
錦町に保育園増

なかむら あきこ
中村 晶子 さん
錦町2丁目・34歳

2 地域活性化、元気な商店街、文化 スポーツなどにぎわいと活力ある蕨へ

わらびりんごは市内での苗木育成に加え、群馬県片品村と技術交流を進めています。また、市内経済の活性化へ、空き店舗有効活用事業や住宅リフォーム助成制度を拡充。

- ◎ 防災含め、地域密着型公共事業で地域活性化
- 中心市街地活性化計画の国の認定と本格的推進
- △ 蕨東西口のコミュニティ・ショッピング道路整備
- ◎ 空き店舗有効活用事業の実施
- 都市計画制度を活用し、防災や商店街活性化など
中央第一地区の新たなまちづくりの推進
- 蕨駅西口第二、第三工区の「市負担の大幅削減」に
向けた計画見直し
- ◎ 住宅リフォーム助成制度の拡充
- わらびりんごでロマンあるまちづくり推進
- △ 音楽によるまちづくりの推進
- △ 文化スポーツ施設のインターネット予約導入



安心



活性化



笑顔



防災

1 防災、防犯、環境、まちづくりなど 安全安心、環境に優しい蕨へ

子どもと地域の安全を最優先に、引き続き、学校体育館の耐震化と大規模改修を進め、今年度末で全学校施設の耐震化が完了します。また、古い耐震基準で建てられた保育園の耐震化や公民館の耐震診断にも着手します。

- ◎ 全ての学校体育館の耐震化を4年間で完了
- 保育園や公民館など公共施設の耐震化促進
- 水道などライフラインの更なる強化
- ◎ 自主防災組織への支援強化
- LED防犯灯400基設置(取替え)
- ◎ 自主防犯組織への支援強化
- 蕨市内の犯罪発生件数を20%削減
- ◎ 家庭用太陽光発電に対する助成
- リサイクルフラワーセンターを活用した
エコキャップと花いっぱい運動の拡大
- 錦町土地区画整理事業の促進

4 介護、健康づくり、障害者福祉など 誰もが安心して暮らせる蕨へ

南町での特別養護老人ホーム整備を支援するとともに、市有地を活用した公募事業者による障害者グループホームの設置に協力します。ともに平成27年4月開設予定。

- 特別養護老人ホームの増設
- ◎ 75歳以上の「ぶらっとわらび」無料化
- 市立病院の経営改革と診療体制の拡充
- ◎ 高齢者の肺炎球菌ワクチンへの公費助成
- 障害者のグループホーム設置
- 一人暮らし高齢者の見守りや災害時の避難支援

3 子育て支援、教育の充実など 子どもたちの笑顔あふれる蕨へ

今年4月、錦町に民間認可保育園(定員105人)が開園しました。また、児童の自主的な勉強をサポートする学校土曜塾を3校で開講。来年度は、全小学校で行う予定です。

- ◎ 待機児童の解消に向け、認可保育園の増設
- ◎ 学童保育(留守家庭児童指導室)の時間延長
- ◎ 小・中学校へのエアコン設置
- ◎ 小学校全学年での35人程度学級実施
- ◎ 全小・中学校での学校図書充足率100%へ
- ◎ 子宮頸がんワクチンへの公費助成
- ◎ アウトメディア宣言で、青少年の健全育成推進
- ◎ 希望する児童を対象とした学校土曜塾の開講

6 引き続き、市財政の健全化を進め 持続可能な都市・蕨へ

厳しい財政状況の中、防災対策などを着実に進めながらも、この2年間で更に約7億6,000万円の借金を削減。

- 市の借金総額を4年間で10億円以上削減
- ◎ 市の人件費を4年間で2億円以上削減
- 国、県の補助金の積極的活用
- 市の滞納債権回収の体制強化と収率向上

5 市民との協働を本格的に進め 心が通い合い、みんなで作る蕨へ

今年4月に「蕨市市民参画と協働を推進する条例」を施行し、これに基づき、協働事業提案制度も創設しました。

- ◎ 市民参画協働のための条例制定
- ◎ 地域貢献活動に対するポイント制度導入
- ◎ ネットワークステーションをくるる1階に整備

蕨市国保
特定健診は
10月31日まで
実施中

たいせつなあなたの体 健診で確認しませんか



特定健診を受ける前には、指定医療機関へのご予約を。早めの受診をおすすめします

健康なときは、病気になるなんて思わないですよ。でも、もしものことがあったとしたら…。あなたがつらいだけでなく、家族や恋人、友人などにも心配を掛けてしまいます。そうならないために、自覚症状がない今こそ、健診を受けて、健康状態を確認してみませんか。

健診で生活習慣見直しを

「体調は悪くないから、健診は必要ない」と思っている人は意外といるのではないのでしょうか。でも、自覚症状がなくても発症の危険性を持っている、進行していたりする病気もあります。その1つが生活習慣病です。乱れた食生活や喫煙、飲酒、運動不足の積み重ねで引き起こされる生活習慣病は、糖尿病や高血圧症、心筋梗塞、脳梗塞などの病気のことで日本人の主な死

因とされています。

こうした病気の発症を防ぐには、日頃の生活習慣の見直しと予防が重要となります。そこで皆さんに受けていただきたいのが定期的な健診です。現在、市国保では40歳から74歳までの加入者を対象に特定健診を行っています。これは生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診で、該当者・予備群を早期に発見し、その後の特定保健指導により改善を図るものです。

健診を受ける
メリットとは



保健センター



保健センター（☎431・5590）では毎月1回、成人健康・栄養相談を開催（今月は26日）

健康な毎日を送るために、バランスのよい食事と運動を。ぜひ市内施設を活用ください。

応援します!!
皆さんの健康づくり

【蕨市国保特定健診】

＜対象＞40歳～74歳
 ＜期間＞10月31日まで
 ＜ところ＞蕨・戸市内指定医療機関
 一覧は受診券に同封しています
 ＜自己負担金＞800円（対象者により無料
 の場合あり）

＜基本検査項目＞

診察／問診・身長・体重・BMI・腹囲・
 血圧
 血液検査／脂質（中性脂肪・HDLコレステ
 ロール・LDLコレステロール）
 血糖（HbA1c）
 肝機能（GOT・GPT・γ-GTP）
 腎機能（尿酸・クレアチニン）

尿検査／尿糖、尿たんぱく
 対象者により追加検査あり

【特定健診から保健指導まで】

- ① 受診券が届いたら医療機関に予約
- ② 健診を受ける
- ③ 医療機関から結果説明を受ける
- ④ 生活習慣の改善が必要と判定された
 人に特定保健指導の案内が届く

詳細／①～③は医療保険課（☎433・
 7736） ④は保健センター（☎431・5590）

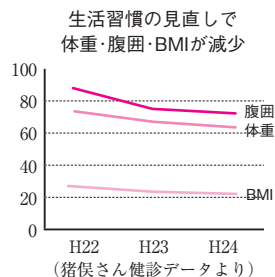
● 後期高齢者健康診査も10月31日ま
 で、併せて実施しています。
 詳細＝医療保険課（☎433・7503）

健診受診者の声



継続的な運動で
 脱メタボに成功

いのまた あつお
 猪俣 敦夫 さん
 塚越2丁目・65歳



3年前の健診でメタボに該当し、特定保健指導を受けることに。「このままでは動脈硬化になってしまう…いけない」との思いから、間食をやめ、運動を始めました。ノルディックウォーキングもその1つ。爽快感にはまり、続けていると体重や腹囲、血圧に加え、血液検査の数値にも効果が出ました。翌年、メタボに該当しなかったときはうれしかったですね。あらためて食事と運動のたいせつさを実感しました。今後も定期的に健診を受けて、体調管理に努めていきたいです。



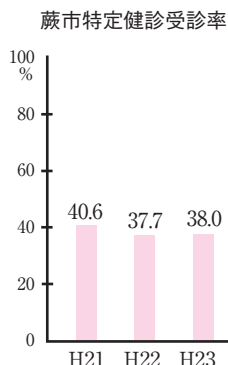
毎日1時間以上行っている
 ノルディックウォーキング

メタボ該当などが約3割

特定健診では、肥満の指標となるBMIや内臓脂肪量をみる腹囲計測などのほか、血液、尿検査を行います。この結果

蕨市特定健診メタボ
 該当者・予備群(%)

	該当	予備群	計
H23	18.9	9.8	28.7



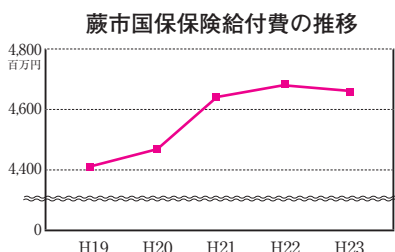
を基に腹囲が男性は85センチ以上、女性が90センチ以上、またはBMIが25以上で高血糖、高血圧、脂質

異常のうち、複数重なる人は脳梗塞や心筋梗塞などを発症する危険性があるとされ、特定保健指導の対象となります。これまでの特定健診の状況をみると、23年度は約3割がメタボ該当者と予備群になっています（上表）。しかし、対象者約1万2000人のうち、受診率は4割前後（左上グラフ）。そのため、未受診者でも多くのメタボ該当者と予備群の人がいると思われれます。健康な毎日を送るためにも、この機会に健診を受けて、体の状態を確認してみませんか。なお、国保以外の人の健診については、ご加入の健康保険にお問い合わせください。

Check!

増加する国保の保険給付費

現在、約2万2,000人が加入している蕨市の国民健康保険。加入者の高齢化や医療技術の高度化など複数の要因から、保険給付費は年々増加傾向にあります（下グラフ）。平成20年度から始まった特定健診・特定保健指導は、生活習慣病の予防徹底により、長期的な視点での医療費抑制の効果が期待されるものです。今後も安定的な国保運営を続けていくためには、一人ひとりの健康がなによりたいせつです。日頃の生活習慣を見直し、健康維持に努めましょう。



公民館



公民館を利用している健康体操などの活動団体もあります。詳しくは最寄りの公民館へ

市民体育館



市民体育館（☎432・2611）のトレーニングルームは、午後9時まで利用できます



レポート そこが知りたい

〈91〉

自然の恵みあふれる群馬県片品村

蕨市との間に、「ふれあい交流協定」と「災害応援協定」を結ぶ片品村は、群馬県北東部に位置する、美しい自然に囲まれたまちです。今月は夏の行楽シーズンを前に、片品村の魅力とともに届きたてのフレッシュなお知らせをご紹介します。

幅広い交流を通じて 支え合うまちづくり

美しい山や湖など、豊かな自然に囲まれた片品村は、面積392・01平方キロメートルに人口約5000人が暮らす、観光と農業が盛んなまちです。片品村と蕨市が互いにまちづくりを支え合おうと、「ふれあい交流協定」と「災害応援協定」を結んだのは平成8年のことで

雄大な自然が広がる 一大観光地・片品村

蕨市から車で約2時間半で行くことができる片品村は、都市化された蕨のまちとは大きく環境が異なります。800種の草花が湿原を彩り、国の特別天然記念物やラムサール条約に指定・登録されている尾瀬、湖岸にブナやシラカバの原生林が迫る丸沼、日本百名山の1つに数えられる霊峰・武尊山など、

雄大な自然に囲まれています。こうした大自然に加え、夏はテニス、冬にはスキーやスノーボードなどを楽しむことができ、年間170万人を超える観光客が訪れる一大観光地となっています。

また、尾瀬の郷片品湧水群は、優れた水質に加えて、清掃や植林、環境活動などが評価され、環境省の「平成の名水百選」として選定されています。

自慢の旬な高原野菜 皆さんの下にお届け

標高1000メートル前後にある片品村の特徴の1つが、高冷地の気候を生かした高原野菜や果樹栽培です。特産は、ダイコンやトマト、トウモロコシ、

リンゴなどで、昼夜の寒暖差は甘味のある良質な農作物を育みます。こうした農作物が村中から集まるのが、村営の

群馬県片品産 高原野菜の直送!!

写真はイメージです

旬の野菜おまかせ詰め合わせ

トウモロコシやトマトなど
10種類以上=3,000円
7種類以上=2,000円(送料・税込)

*配送期間は8月10日~8月末となります
申し込み=7月1日~8月23日
村の産物屋「かたしなや」
(群馬県利根郡片品村鎌田4085)
専用電話=080・8875・9607
FAX=0278・25・4141
ホームページ=
<http://www.katashinaya.com/>

昨年7月にオープンした 村の産物屋「かたしなや」



お店では、新鮮野菜の直売のほか、軽食や各種イベントなどが楽しめます。今季節は、名産品の花豆を使ったソフトクリームが大人気。観光パンフレットもあり、情報満載の新スポットです。
営業=午前9時~午後6時半
(第1・3水曜日除く)

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

【無料で差し上げます】

①ペットシート ②犬用おむつ 取りに来てくれる人へ

▲藤 ☎444・6848

▼第5回リユニエールファミリコンサート 20日 午前10時半 文化ホールくるる

無料入和久 ☎441・6916

【仲間になりませんか】

▼(ことのは(絵手紙) 第2・4水曜日 午前10時 東公民館 月2000円 杉田 ☎433・1207

▼クレセント(ヨガピラティス) 水曜日午後7時 旭町公民館 月2000円 長谷川 ☎090・8101・9921

▼ラメールなごみ(ストレッツ) 月4回金曜日 午前9時半 北町公民館 月1200円 広瀬 ☎432・4787

▼児童合唱団「野うさぎ」 土曜日 午後4時15分 南公民館 月3500円 幼児/中学生/近藤 ☎080・5375・5659

▼骨盤フィットネスクラブ 子育てママⅡ第1金曜日・第3月曜日 午前10時 託児あり 50~70歳向けⅡ第2・4月曜日 午前9時半 西公民館 月1000円 古田 ☎090・4672・5729

■炊き出し訓練の応援/町会などの防災訓練で炊き出し時にガスボンベの貸し出しや食材提供を実施 詳細=県化学保安課(☎048・830・8439)



グレムボツッキ
ヤンさん ドイツ
錦町4丁目・34歳

この まちに 暮らして

ま・ち・の・話・題

ドイツの北部、ハノーファー出身のヤンさんは、31歳のときに来日。大学でのヴァイオリンの講師や作曲といった、音楽に携わる仕事をしています。蕨には、日本で出会った韓国出身の妻・允禎さんと2年前に引っ越してきました。蕨に来て感じた

ことは、都会的で便利なまちなのに静かで過ごしやすいということ。なかでもお気に入りなのが、中山道本町通りにある歴史民俗資料館分館です。「古風な雰囲気癒やされますね」と足を運ぶ度に、蕨の文化との触れ合いを深めているようです。

5月29日、市内全域で行われた「わらびチャレンジデー2013」。健康意識の向上を図ろうと、午前0時から午後9時までの間、まちが一丸となってさまざまな運動に挑戦。参加した5万2453人の皆さんにとって、あらためて健康を考える良い機会となりました。

まち全体で健康づくり



まち全体で清掃活動に取り組もうと、6月2日、「クリーンわらび市民運動」が市内全37町会で行われました。参加した4549人は、公園や道路などの雑草を抜いたり、空き缶を拾ったりして汗を流し、集められたごみは7830袋。ご協力ありがとうございました。

全町会でごみゼロ運動



6月9日、障害者と地域のひととの交流の場、「社会福祉センターまつり」が同センターで開かれました。会場は、かがやき太鼓や二中吹奏楽部の演奏、西小児童の合唱のほか、手作りパン販売や模擬店などで大盛況。訪れた475人は楽しみながら福祉への関心を高めました。

交流深める福祉の祭り



この数な～に 82メニュー

生涯学習まちづくり出前講座をご存じですか。これは10人以上が集う勉強会に市職員が伺い、税金、健康、防犯、防災などのお話をする講座のことです。「まち」・「くらし」・「安全」・「健康」・「福祉」・「まなぶ」・「施設」の分野から、現在、82メニューを用意しています。昨年度、137団体が受講した同講座は利便性を更に高めようと、4月から一部メニューが平日夜間や休日にも利用できるようになりました。身近な生活の問題など、学びを深める際に活用ください。詳細＝生涯学習スポーツ課(☎433・7729)

あじさいまつりが開催



500本のアジサイが彩る、ねむのき公園(中央2丁目)で、6月15日と16日、「あじさいまつり」が開かれました。模擬店や花の直売などのほか、総勢300人による手踊りが行われ、催しは大にぎわい。延べ1500人が季節の花を楽しみながら、お祭りを満喫しました。

寄附で楽しみお餅つき



6月25日、蕨ライオンズクラブ(高橋久治会長)から、園児たちのためにと、2升臼ときねの寄附をいただきました。寄贈が行われたみどり保育園では、園児たちが、ありがとうの気持ちをこめて踊りを披露。いただいた臼ときねは各園でたいせつに使わせていただきます。

- ▼大極拳圓松会 月曜日 午前9時半 文化ホールくるる 月2000円△石井・☎080・1353・7936
- ▼蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円2000円(未就学児は年間1000円) 年中小学生△小泉・☎090・4948・5936
- ▼南田基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 △井上・☎42・0259
- ▼田中良忠員画教室(蛤貝細密画) 月1回土曜日 午後1時 文化ホールくるる 月5000円 初心者・女性歓迎△田中・☎431・2959
- ▼90歳が語る健康法について(健康セミナー) 28日 午前9時半 市民会館 3000円 △平田・☎44・2222
- ▼大極拳泉(初心者講習会) 13日・20日 午後2時 長泉院 無料△浅賀・☎431・7125
- ▼日帰り旅倶楽部 秩父・秋の七草寺 9月21日 1000円(別途バス代) 説明会あり△岩本・☎090・34331・4295
- ▼ダンスパーティー 11日・25日・31日 午後1時 文化ホールくるる 499円△犬塚・☎441・7373
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 2日 中央公民館 10日 南公民館 18日 旭町公民館 午後7時△岡田・☎441・3172

家族の健康を守るための 風しん予防接種 一部助成スタート

全国的に風しんが流行しています。妊婦が感染すると、胎児が先天性疾患などを発症する場合があります。そこで市では、妊婦や赤ちゃんの健康を守ろうと、予防接種費用の一部助成を開始しました。対象や申請方法をご確認の上、ご利用ください。

親と子の ニュースの 小窓



接種についてご家庭で考えてみませんか(写真はイメージ)

流行中の風しんには予防接種で対策を

お母さん またニュースで、風しんが流行中だと
言っているわね。

ワラビ 怖いなく。

お母さん ワラビは予防接種を2回も受けているからだいじょうぶよ。

ワラビ ほんとうに？

お母さん そんなに心配なら保健センターにお話を聞きにいきましょう。

ワラビ こんにちは。風しんについて教えてください。

保健師 こんにちは。風しんは、人から人にうつるウイルスで、かかると熱が出たり体に発疹ができたりする病気です。

ワラビ 僕もかかるの？

保健師 予防接種をしていれば、ほとんどの人は

ウイルスから守ってくれる抗体が来ているのよ。

ワラビ よかった。

お母さん でも、みんな

接種をしているはずなのに、風しんがはやっているのはどうしてですか？

保健師 現在は原則、男女とも1歳のときと小学校就学前に接種しますが、

世代によっては、これまでに接種を受ける機会がなかった人など、じゅうぶんに免疫を持っていない人もいます。

ワラビ そうなの？

保健師 はい。その年代が、最近の発症の中心でもある20代から40代の男性です。それに、女性でも

接種の受け方によっては抗体が少ない人もいます。

助成の申請は接種後に保健センターへ

保健師 風しん自体は、比較的症状が重くはならない病気ですが、怖いのが妊婦への感染です。

ワラビ どうして？

保健師 胎児にも感染して、生まれつき目や耳、

心臓などに障がいが見れる、先天性風しん症候群にかかってしまう可能性があるからです。

お母さん いい予防方法はないのかしら。

保健師 手洗い・うがい

～風しん予防接種の一部助成について～

●対象／次のいずれかに該当する市民

- ・妊娠を予定または希望する19歳～49歳の女性
- ・妊娠している女性の夫（児の父親）

※風しんにかかったことがなく、各種風しんワクチンの予防接種を受けたことがない人

●助成対象期間（接種日）／4月～来年3月

●申請期間／接種後1年以内

●助成／次のいずれか1回

- ・風しん単抗原ワクチン＝3,000円
- ・麻しん風しん混合ワクチン(MR)＝5,000円

●申請／保健センター設置の申請書、予防接種済証か予診票の写し、領収書か明細書、母子健康手帳の写し(児の父親のみ)、印鑑、本人名義の振込口座の分かる物を持ち、同センター

も大事ですが、やはり予防接種が最も有効だと言われています。

お母さん 接種には幾らかかるんですか？

保健師 接種費用は医療機関によって異なりますが、市では先月から、妊娠を希望する19歳以上49歳以下の女性や、妊娠中の女性の夫を対象に、費用の一部助成（詳細は左囲み）を開始しました。

お母さん 助成額は？

保健師 風しん単抗原ワクチンが3,000円、麻しん風しん混合ワクチン(MR)が5,000円です。

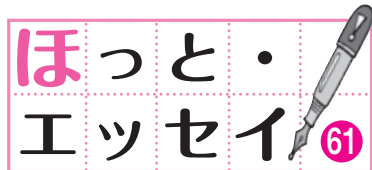
お母さん 子どもが欲しい家庭にとつて、とてもありがたいわね。

保健師 家族の健康を守るためにも、皆さんにぜひ利用してほしいですね。

申請・詳細は保健センター(☎431・5590)



皆さんご存じのとおり、蕨は成人式発祥の地であり、これまで次代を担う若い皆さんを応援するまちづくりを進めてきました。国際青少年キャンプは、今年11回目を迎え、7月に蕨と友好都市のドイツ・リンデン市で開催されましたが、これまでのキャンプに参加した青少年たちがWICAという組織をつくり、国際交流事業への協力のほか、今年1月の成年式でもメンバーが



蕨の若い力に期待

市長 頼高英雄

実行委員長をはじめ、実行委員会に参加するなど、蕨のまちづくりの積極的に参加しています。

また、『広報蕨』6月号で紹介した蕨学生ボランティア会議所らびっこの皆さんは、市民公園や駅前清掃を行うとともに、今年度から始まったわらび学校土曜塾の学習アドバイザーとして12人も参加してくれています。意外に思われるかもしれませんが、人口構成においても、蕨は人口構成において、20代が13.7%を占めており、若い県といわれる埼玉県平均の11.5%より高く、若者が多いまちでもあります(22年国勢調査)。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は4日。ただし、8月は8日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



子どもクラブ

どんな生き物があるのかな？
つかごしプレステージ
小学2年生から6年生までを対象に東公民館で開かれている総合体験講座つかごしプレステージ。6月15日、30人のちびっ子調査隊が向かった先は塚越の緑川親水広場です。実はここ、生き物の宝庫なんです。石を持ち上げると、「ザリガニ見つけ!」「こっちはカニだ」とたくさん生き物が顔をのぞかせます。当日は、マルタウグイやハゼなど、淡水と海水が混じる緑川ならではの魚にも出会うことができました。「お魚がこんなにいるんだね」と子どもたちはにっこり。自然のたいせつさを肌で感じました。



わが家のアイドル

真太郎ちゃん
(3歳8か月)

笹本 伸一さん
明子さんの

長男
錦町2丁目

-495-

「自分でなんでも挑戦するようになってきた真太郎が最近夢中になってるのが、お買い物です。必要な物をいっしょに選べ終わると、率先してレジに向かっています。お釣りを受け取ると、小銭を選んで自分の財布に

しまい、『お金がたまったら、お父さんとお母さんを旅行に連れて行ってあげる』と、うれしい言葉を掛けてくれます。そんな真太郎には、これからも元気で思いやりのある子に育ってほしいですね」と、母親の明子さん。

DE かるた アンチエイジング



蕨市立病院
柴田 優子 医師

ストレス ストレスは全てネガティブなものではなく、適度なストレスは抵抗力を付けるように働きます。ストレスに強い人になり

たいものです。それは自分の健康にとって良いストレスと悪いストレスを見極め、悪いストレスにうまく対処し、良いストレスへと換えることができる人。休むこともたいせつ。そのなかで目標を持つこともたいせつ。健康でも生活でもどんな小さな目標だって良いのです。ストレスについての学者、セリエはこんな言葉を残しています。「ストレスは人生のスパイスだ」。健康増進(アンチエイジング)外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページで



おいしい料理と笑顔を届ける佐藤さん

輝いています

ひと

フレンチシェフ

さとう かず ひさ
佐藤 和久 さん

料理で広がるおいしい笑顔

純

白のコックコートを身にまとい、1皿の料理に技術と思いを注ぐ。五感の全てに訴え、食で人を魅了するのは、フレンチシェフの佐藤和久さん（62歳・錦町6丁目）です。40年以上、この世界で情熱を注ぎ、これまで、260万食を超える料理をお客様に提供しています。

佐藤さんは高校卒業後、都内のホテルに就職。そこで目にしたのが、華やかで繊細な料理と、それを楽しみながら味わうお客様の笑顔でした。料理と笑顔が織りなす、幸せに満ちた光景に胸を打たれ、自身もフランス料理のシェフになる決心をしました。最初の1年は接客係を、次

の1年は洗い物を担当して、下積み時代を送りました。ただ指示を待つだけでは成長できないと考え、昼夜を問わず、どんな雑用も率先してこなしました。すると、しだいに先輩から手伝いを頼まれるようになったのです。はじめは食材の下ごしらえ、続いて火の扱いやソース作り、そして食材の盛り付け。気づくと、1つの料理を作るようになっていました。そうして、多くの料理を学び、提供してきた佐藤さんは、「お客様の喜びを自分の喜びとして共有できる、この仕事に誇りを感じます」と笑顔で話します。

現在も厨房に立ち続けながら、学んだことを後進にも伝えたいと、人材育成に尽力する佐藤さん。そうした長年の取り組みが評価され、平成23年11月には、調理師関係の功労者として厚生労働大臣表彰を受けました。また、昨年からは、「料理を通して、地域に貢献したい」と、西公民館で料理教室を開催し、今月10日の教室（お知らせ版7ページ）でも講師を務めます。40年以上かけて培った技術と食への思いを幸せのエッセンスに、これからも、フランス料理でまさに笑顔の輪を広げていきます。

紹介します！皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力

～蔵パソコン支援隊～

メッセージ



しげとみ たくみ
重富 巧 隊長

地域に根ざした活動で
蔵の1丁環境を豊かに

私たち蔵パソコン支援隊は、パソコンを積極的に活用したいと考えている市民の皆さんをお手伝いするボランティア団体です。平成16年に発足し、現在、28人の隊員で構成されています。主な活動は、毎月10日に開催される、中央公民館のパソコンルームの利用者への支援です。文章の入力方法やインターネットの使い方などの初歩的な質問も気軽に聞いてください。



興味のある人は中央公民館 ☎432・2530へ

また、公共施設のパソコンを快適に使用してもらえよう、環境の整備や点検も行っています。そのほか、IT（情報技術）に関する講座を開催しています。9月には、中央公民館との共催で「第1回わらびビデオコンテスト」を実施します。テーマは「あなたの蔵を伝えてください」。「蔵の今」を後世に残す、郷土愛あふれる作品の応募をお待ちしています。それに合わせて今月27日には、「デジカメ動画『撮影&編集』講座」も開催します（申し込み24日まで同館）。

今後も、誰もが便利に楽しくパソコンを使えるよう、精いっぱい支援を続けていきます。

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎445・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。